

SCHEDULE

3.16 [Sat]

10:00～11:00 稚児行列
11:00～11:40 御本尊御開帳の儀
15:00～15:30 大護摩供法要



稚児行列

小学校入学前後の3歳～10歳くらいの子どもの無病息災や成長を願って観音様のご加護をいただけるよう着飾って集落を練り歩きます。長谷寺では昭和25年からコロナ禍を除いて毎年3月の「お観音さん」の初午祭りにおこなってきました。

17 [Sun]

11:00～11:30 大護摩供法要
14:30～15:00 大護摩供法要



大護摩供法要

お護摩は、火を焚き供物を捧げて、本尊さまを供養する世界最古の火を使った儀式です。その目的は煩惱を焼き尽くしご本尊様のお力によって私たちの心身が本来の清らかな状態へと導かれ、願いごとを成就させる力をいただきます。

18 [Mon]

10:00～10:40 大護摩供法要
14:00～15:00 大般若経六百巻転読会
15:00～15:40 御閉帳の儀



大般若経六百巻転読会

600巻ある「大般若経」の一部を唱えることで全てを読んだことに代える法要のことです。転読することで般若経の空(くう)の教えを体得し全ての苦厄を消し去り内外の怨敵を退散させ五穀豊穡や平和を祈念し人々を開運招福など幸福な生活に導くことを目的にした法要です。

33年ぶりのご開帳となる秘仏「御本尊十一面観音立像」とは？

長谷寺の創建は奈良時代の養老2年(718)、当時の名僧として知られた行基がこの地を訪れ自ら十一面観音立像を彫ったのが始まりと伝えられています。当初の山号は「豊山」だったそうですが、この地域が八田荘と呼ばれていたことで「八田山」に改称したとされます。江戸時代には原七郷(上八田・西野・在家塚・上今井・吉田・小笠原・桃園)の守り観音として広く信仰され、本尊である十一面観音立像は平安時代の11世紀後年に製作されたもので、像高169.3cm、桂材の一本造、歴史的に古く意匠に優れ、保存状態も良いことから平成16年(2004)に山梨県有形文化財に指定されています。

その秘仏「十一面観音立像」が2024年3月16日～18日の3日間だけ、33年ぶりにご開帳となり一般拝観が可能です。(拝観料【護摩木付き】500円)

関連イベント 文化財講座

3月16日(土) 10:00～10:30 「長谷寺の信仰と文化財保護本堂改修の物語」 講師:市教育委員会文化財課文化財主事

17日(日) 10:30～11:00 「御本尊十一面観音立像(県指定有形文化財)の魅力について」 講師:鈴木麻里子(市文化財保護審議会委員)
14:00～14:30 「長谷寺本堂(重要文化財)の魅力について」 講師:北川洋(市文化財保護審議会委員)

18日(月) 13:10～13:40 「長谷寺の信仰と文化財保護本堂改修の物語」 講師:市教育委員会文化財課文化財主事

※各イベントは、本堂受付前に集合し、本堂内をご案内するため拝観料500円(護摩木付き)が必要となります。

ACCESS

真言宗智山派 **八田山長谷寺**

〒400-0204 山梨県南アルプス市榎原 442

TEL 090-1561-0072 電話受付 | 9:00～17:00

南アルプス市 長谷寺

検索

駐車場案内

※狭道のため一方での通行をお願いいたします。



コミュニティバス: 竜王駅のバス停からバスで10分+バス停「JA八田選果場」から徒歩15分
山梨交通バス: 竜王新町のバス停からバスで8分+バス停「野牛島」から徒歩15分
中央自動車道「甲府昭和IC」から車で20分 / 中部横断道「白根IC」から車で5分

Instagram



竜王新町発
山交バス
時刻表



竜王駅発
コミュニティバス
時刻表